

タイトル	著者名	内容紹介
光のところにいてね	一穂ミチ	古びた団地の片隅で出会った結珠と果遠。ふたりは何もかもが違った。着るものも食べる物も住む世界も一。ひとつの愛に惑うふたりの四半世紀の物語。
あなたはここにいないとも	町田そのこ	いまは人生の迷子になってしまったけれど、あなたの道しるべは、ほら、ここに。もつれた心を解きほぐす、ぬくもりに満ちた全五篇。
黄色い家	川上未映子	人はなぜ罪を犯すのか。十七歳の夏、親もとを出て「黄色い家」に集った少女たちは、生きていくためにカード犯罪の出し子というシノギに手を染める。
朝星夜星	朝井まかて	幕末から維新、明治と激動の時代の外交を料理で支えた草野丈吉。日本初の洋食屋を長崎で開いた丈吉は、明治の世になり大阪へ移り、明治天皇が出席するなど重要な式典で饗応料理を提供するまでになるのだが……。